



I コマンド

この章では、I で始まる Cisco NX-OS マルチプロトコル ラベル スイッチング コマンドについて説明します。

import

ルート マップ ベースの仮想ルーティングおよび転送（VRF）および仮想ルータのコンテキストをインポートするには、`import` コマンドを使用します。

```
import {map [map-name | redist-bgp] | vrf default [maximum-prefix | map]}
```

構文の説明

map	ルート マップ ベースの VRF のインポートを指定します。
<i>map-name</i>	マップの名前。マップ名は 63 文字以下の英数字で、大文字と小文字が区別されます。
redist-bgp	既知のルート マップ名を指定します。
vrf	仮想ルータのコンテキストを指定します。
default	デフォルトの VRF 名を指定します。
<i>maximum-prefix</i>	最大プレフィックス。指定できる範囲は 1 ~ 2147483647 です。

デフォルト

1000

コマンド モード

アドレス ファミリ コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスは必要ではありません。

例

次に、仮想ルータのコンテキストをインポートする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature mpls l3vpn
switch(config)# vrf context vpn1
switch(config-vrf)# rd 1.2:1
switch(config-vrf)# address-family ipv4 unicast
switch(config-vrf-af-ipv4)# route-target import 1:101
switch(config-vrf-af-ipv4)# maximum routes 3000
switch(config-vrf-af-ipv4)# import vrf default map redist-bgp
```

This example shows how to remove the virtual router context:
switch(config-vrf-af-ipv4)# **no import vrf default map redist-bgp**

関連コマンド

コマンド	説明
maximum routes	ルーティング テーブルで許可される最大ルート数を設定します。
route-target	VRF インスタンスにルート ターゲット拡張コミュニティを作成します。

index

特定のインデックスでのトラフィック エンジニアリング (TE) 明示パス エントリを挿入または変更するには、**index** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

index *index command*

no index *index command*

構文の説明

<i>index</i>	インデックス番号。有効な範囲は 1 ～ 65535 です。
<i>command</i>	command には、 exclude-address キーワードまたは next-address キーワードを指定できます。

デフォルト

なし

コマンド モード

TE 明示パス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、特定のインデックスでパス エントリを挿入または変更する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# mpls traffic-eng configuration
switch(config-te)# explicit-path name link5
switch(config-te-expl-path)# index 10 next-address 10.0.0.1
Explicit Path name link5:
    10: next-address 10.0.0.1
switch(config-te-expl-path)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls traffic-eng configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング プロトコル (MPLS-TE) を設定します。

interface ethernet

マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) をイネーブルにしているイーサネット インターフェイスを設定するには、**interface ethernet** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

interface ethernet *slot/chassis number*

no interface ethernet *slot/chassis number*

構文の説明	<i>slot/chassis number</i> スロットまたはシャーシ番号。有効範囲は 1 ~ 253 です。
-------	--

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	インターフェイス コンフィギュレーション モード
---------	--------------------------

サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin
---------------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	デバイスのマルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を無効にすると、LDP コマンドを使用できません。 このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。
------------	--

例	次に、MPLS LDP をイネーブルにしているイーサネット インターフェイスを設定する例を示します。 <pre>switch(config)# interface ethernet 2/2 switch(config-if)#</pre>
---	---

関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

interface tunnel-te

トラフィック エンジニアリング (TE) インターフェイスを設定するには、**interface tunnel-te** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

interface tunnel-te *number*

no interface tunnel-te *number*

構文の説明	<i>number</i>	トラフィック エンジニアリング インターフェイス番号。指定できる範囲は 0 ~ 65503 です。
デフォルト	なし	
コマンド モード	インターフェイス コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、TE インターフェイスを設定する例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# interface tunnel-te 65 switch(config-if-te) #</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	なし	関連するコマンドはありません。

install feature-set mpls

フィーチャセットのマルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) をインストールするには、**install feature-set mpls** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

install feature-set mpls

no install feature-set mpls

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの VDC のみ

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、フィーチャセット MPLS をインストールする例を示します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# install feature-set mpls  
feature set is installed already(0x40aa0011)  
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature-set mpls	フィーチャセットのマルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) をイネーブルにします。

ip prefix-list

マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) ラベルのフィルタリング、発信フィルタリング、着信フィルタリング用のプレフィックスリストを作成するには、**ip prefix-list** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ip prefix-list prefix-list {description description | seq number [deny network/length [eq eq-length | ge ge-length | le le-length ] | permit network/length [eq eq-length | ge ge-length]] | deny network/length [eq eq-length | ge ge-length | le le-length]}
```

```
no ip prefix-list prefix-list {description description | seq number [deny network/length [eq eq-length | ge ge-length | le le-length ] | permit network/length [eq eq-length | ge ge-length]] | deny network/length [eq eq-length | ge ge-length | le le-length]}
```

構文の説明

<i>prefix-list</i>	プレフィックス リストの名前。プレフィックス リストは最大 63 文字です。
description	IP プレフィックス リストの説明を指定します。
<i>description</i>	IP プレフィックス リストの説明。最大長は英数字 90 文字です。
seq	エントリのシーケンス番号を指定します。
<i>number</i>	シーケンス番号。範囲は 1 ~ 4294967294 です。
deny	(任意) 一致した条件のアクセスを拒否します。
<i>network/length</i>	ネットワーク アドレスおよびネットワーク マスクの長さ (ビット単位)。ネットワーク番号には、任意の有効な IP アドレスまたはプレフィックスを指定できます。ビットマスクは、0 ~ 32 の数値にできます。
eq	(任意) イコール演算子を指定します。
<i>eq-length</i>	照合するプレフィックス長。
ge	(任意) 大なりイコール演算子を指定します。
<i>ge-length</i>	照合されるプレフィックスの最小の長さを指定します。
le	(任意) 小なりイコール演算子を指定します。
<i>le-length</i>	照合される最大プレフィックス長。
permit	一致した条件へのアクセス許可を指定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、IP プレフィックス リストを作成し、プレフィックス リストで許可されたプレフィックスを指定する例を示します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# ip prefix-list p1 permit 10.0.0.2/32 ge 10  
switch(config)#
```

```
switch# configure terminal  
switch(config)# ip prefix-list p1 permit 10.0.0.0/32  
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

ip rsvp

リソース予約プロトコル (RSVP) 情報を設定するには、**ip rsvp** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip rsvp

no ip rsvp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、RSVP 情報を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# ip rsvp
switch(config-ip-rsvp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

ip rsvp authentication challenge

リソース予約プロトコル (RSVP) をインターフェイスでチャレンジ ハンドシェイクを使用するように設定するには、**ip rsvp authentication challenge** コマンドを使用します。インターフェイスでの認証をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip rsvp authentication challenge

no ip rsvp authentication challenge

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、インターフェイスでチャレンジ ハンドシェイクを使用するように RSVP を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# interface ethernet 2/1  
switch(config-if)# ip rsvp authentication challenge  
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

ip rsvp authentication key-chain

インターフェイスでリソース予約プロトコル（RSVP）暗号化認証をアクティブにするには、**ip rsvp authentication key-chain** コマンドを使用します。インターフェイスでの認証をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip rsvp authentication key-chain *key-chain-name*

no ip rsvp authentication key-chain *key-chain-name*

構文の説明	<i>key-chain-name</i>	キーチェーンの名前。
構文の説明	このコマンドには、引数またはキーワードはありません。	
デフォルト	なし	
コマンド モード	インターフェイス コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、インターフェイスで RSVP 暗号化認証をアクティブにする例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# interface ethernet 2/1 switch(config-if)# ip rsvp authentication key-chain key1 switch(config-if)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング（MPLS）ラベル配布プロトコル（LDP）を設定します。

ip rsvp authentication lifetime

リソース予約プロトコル (RSVP) がインターフェイスでセキュリティ アソシエーションを維持する時間を制御するには、**ip rsvp authentication lifetime** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ip rsvp authentication lifetime hh:mm:ss
```

```
no ip rsvp authentication lifetime hh:mm:ss
```

構文の説明	<i>hh:mm:ss</i>	秒単位のライフタイム値。指定できる範囲は 30 ~ 86400 秒です。
構文の説明	このコマンドには、引数またはキーワードはありません。	
デフォルト	30 分	
コマンド モード	インターフェイス コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、RSVP がインターフェイスでセキュリティ アソシエーションを維持する時間を制御する例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# interface ethernet 2/1 switch(config-if)# ip rsvp authentication key-chain key1 switch(config-if)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

ip rsvp authentication type

インターフェイスの暗号化シグニチャ メッセージを生成するために使用するアルゴリズムを設定するには、**ip rsvp authentication type** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ip rsvp authentication type {md5 | sha-1}
```

```
no ip rsvp authentication type {md5 | sha-1}
```

構文の説明

md5	Rivest、Shamir、Adleman (RSA) Message Digest 5 ハッシュ アルゴリズムを指定します。
sha-1	National Institute of Standards and Technology (NIST) の Secure Hash Algorithm 1 を指定します。

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

md5

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、インターフェイスの暗号化シグニチャ メッセージを生成するために使用するアルゴリズムを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# ip rsvp authentication type md5
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

ip rsvp authentication window-size

インターフェイスのシーケンス外メッセージの許容範囲を設定するには、**ip rsvp authentication window-size** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip rsvp authentication window-size value

no ip rsvp authentication window-size value

構文の説明	<i>value</i>	受信ウィンドウ内で許容されるメッセージの最大数。指定できる範囲は 1 ~ 64 です。
--------------	--------------	---

構文の説明	このコマンドには、引数またはキーワードはありません。
--------------	----------------------------

デフォルト	1
--------------	---

コマンドモード	インターフェイス コンフィギュレーション モード
----------------	--------------------------

サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin
----------------------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。
-------------------	------------------------------------

例	次に、インターフェイスでのシーケンス外メッセージの許容範囲を指定する例を示します。
----------	---

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# ip rsvp authentication window-size 3
switch(config-if)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

ip rsvp signalling dscp

リソース予約プロトコル (RSVP) シグナリング メッセージの Differentiated Services Code Point (DSCP) を設定するには、**ip rsvp signalling dscp** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip rsvp signalling dscp *value*

no ip rsvp signalling dscp *value*

構文の説明	<i>value</i>	DSCP 値。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。
デフォルト	48	
コマンドモード	インターフェイス コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、RSVP シグナリング メッセージの DSCP を設定する例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# interface ethernet 6/1 switch(config-if)# ip rsvp signalling dscp 1 switch(config-if)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

ip rsvp signalling hello dscp

hello メッセージの IP ヘッダー内にある DiffServ コードポイント (DSCP) 値を設定するには、**ip rsvp signalling hello dscp** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip rsvp signalling hello dscp *value*

no ip rsvp signalling hello dscp *value*

構文の説明	<i>value</i>	DiffServ コードポイント (DSCP) 値。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。
デフォルト	48	
コマンドモード	インターフェイス コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、hello メッセージの IP ヘッダー内の DSCP 値を設定する例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# interface ethernet 2/2 switch(config-if)# ip rsvp signalling hello dscp 1 switch(config-if)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

ip rsvp signalling hello reroute

IP リソース予約プロトコル (RSVP) のシグナリング hello 再ルーティング コマンドを設定するには、**ip rsvp signalling hello reroute** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip rsvp signalling hello reroute [override-graceful]

no ip rsvp signalling hello reroute [override-graceful]

構文の説明	override-graceful	Hello ステート タイマー (HST) 動作の GR ノード ネイバーの存在を無視するよう指定します。
-------	--------------------------	---

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	インターフェイス コンフィギュレーション モード
----------	--------------------------

サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin
---------------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。
------------	------------------------------------

例	次に、IP RSVP のシグナリング hello RSVP リルート コマンドを設定する例を示します。
---	---

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 2/2
switch(config-if)# ip rsvp signalling hello reroute override-graceful
switch(config-if)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

ip rsvp signalling hello reroute state-timeout refresh misses

Hello ステート タイマー (HST) 機能について、hello メッセージが連続して失われた場合に、ネイバーがダウンしている、またはネイバーに到達不能であると宣言するまでの喪失数を設定するには、**ip rsvp signalling hello reroute state-timeout refresh misses** コマンドを使用します。デフォルトの動作に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip rsvp signalling hello reroute state-timeout refresh misses value

no ip rsvp signalling hello reroute state-timeout refresh misses vlaue

構文の説明	<i>value</i>	受信ウィンドウ内で許容されるメッセージの最大数。指定できる範囲は 1 ~ 64 です。
--------------	--------------	---

デフォルト	4
--------------	---

コマンド モード	インターフェイス コンフィギュレーション モード
-----------------	--------------------------

サポートされるユーザ ロール	network-admin vdc-admin
-----------------------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例 次に、HST 機能についてネイバーがダウンしているか到達不能であると宣言するまでに hello メッセージが連続して失われた数を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 2/2
switch(config-if)# ip rsvp signalling hello reroute state-timeout refresh misses 12
```

関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

ip rsvp signalling hello reroute state-timeout refresh interval

HST 機能をサポートするためにリソース予約プロトコル (RSVP) hello メッセージの送信間隔を設定するには、**ip rsvp signalling hello reroute state-timeout refresh interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip rsvp signalling hello reroute state-timeout refresh interval *time*

no ip rsvp signalling hello reroute state-timeout refresh misses *time*

構文の説明

<i>value</i>	受信ウィンドウ内で許容されるメッセージの最大数。指定できる範囲は 1 ~ 64 です。
--------------	---

デフォルト

HST は 2 秒。

fast-reroute は 200 ミリ秒。

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

今後のフェーズでは、**fast-reroute** キーワードをともなうコマンドと同様の形式が、hello メッセージが連続して失われた場合に、Fast Reroute 機能についてネイバーがダウンしていると宣言するまでの喪失数の設定に使用される可能性があります。

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、HST 機能をサポートするように RSVP hello メッセージの送信間隔を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 2/2
switch(config-if)# ip rsvp signalling hello reroute state-timeout refresh interval 12
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

ip unnumbered loopback

インターフェイスに明示的な IP アドレスを割り当てずにインターフェイスでの IP 処理をイネーブルにするには、**ip unnumbered loopback** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip unnumbered loopback *number*

no ip unnumbered loopback *number*

構文の説明	<i>number</i>	仮想インターフェイス番号。指定できる範囲は 0 ~ 1023 です。
デフォルト	なし	
コマンドモード	TE インターフェイス コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドは、指定されたループバックに IP アドレスを設定するまでは有効になりません。このコマンドには、MPLS Services ライセンスは必要ではありません。	
例	次に、アンナンバード ループバックとしてインターフェイスを設定する例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# interface tunnel-te 1 switch(config-if-te)# ip unnumbered loopback 0 switch(config-if-te)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	tunnel-te interface	トラフィック エンジニアリング (TE) インターフェイスを設定します。

isis metric

転送隣接として使用されるトンネル インターフェイスに Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) メトリックを設定するには、**isis metric** コマンドを使用します。

isis metric *metric-value* {**level-1** | **level-2**}

構文の説明	metric-value	デフォルト メトリック。指定できる範囲は 0 ~ 16777215 です。
	level-1	レベル 1 の Link にメトリックを指定します。
	level-2	レベル 2 の Link にメトリックを指定します。

コマンド モード TE インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
vdc-admin

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **isis metric** コマンドには、トラフィック エンジニアリングを実行している IGP レベルと一致するように、レベル 1 またはレベル 2 を指定します。そうしない場合、メトリックのデフォルト値は 10 です。IGP が IS-IS である場合だけ、このコマンドを使用します。IGP が OSPF の場合、同等の OSPF コマンドを使用します。

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例 次に、転送隣接として使用するトンネル インターフェイスに IS-IS メトリックを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface tunnel-te 1
switch(config-if-te)# forwarding-adjacency
switch(config-if-te)# isis metric 2 level-1
switch(config-if-te)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	interface tunnel-te	トラフィック エンジニアリング インターフェイスを設定します。